

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成30年度IoT技術を用いた施工管理効率化検討業務
業務概要	本業務は、土木工事における段階確認や施工状況把握等監督行為の効率化を図る上で有効となるIoT技術の抽出並びに対象工種の選定を行うものである。 また、抽出された技術の導入効果を確保するため、既存の監督要領等について課題抽出・整理を行い、要領改定の素案について、とりまとめを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 泊 宏 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 支出負担行為担当官 北海道開発局開発監理部長 角南 国隆 北海道札幌市北区北8条西2丁目 支出負担行為担当官 東北地方整備局長 津田 修一 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 支出負担行為担当官 北陸地方整備局長 小俣 篤 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 支出負担行為担当官 中部地方整備局長 塚原 浩一 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 池田 豊人 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5番44号 支出負担行為担当官 中国地方整備局長 川崎 茂信 広島県広島市中区上八丁堀6番30号 支出負担行為担当官 四国地方整備局長 平井 秀輝 香川県高松市サンポート3番33号 支出負担行為担当官 九州地方整備局長 増田 博行 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 支出負担行為担当官 沖縄総合事務局開発建設部長 中島 靖 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号
契約年月日	平成30年 6月13日
契約業者名	一般社団法人日本建設機械施工協会
契約業者の住所	東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館内
契約金額	¥14,310,000円(税込み)
予定期格	¥14,374,800円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、土木工事における段階確認や施工状況把握等監督行為の効率化を図る上で有効となるIoT技術の抽出並びに対象工種の選定を行うものである。 また、抽出された技術の導入効果を確保するため、既存の監督要領等について課題抽出・整理を行い、要領改定の素案について、とりまとめを行うものである。 本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験、および業務への取り組み姿勢などを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 一般社団法人 日本建設機械施工協会は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業務場所	関東地方整備局及び発注者の指示する箇所
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成30年 6月14日
履行期間(至)	平成30年12月14日
備考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。